

高等学校 芸術科（書道） シラバス

2年間のねらい

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたって“書”を愛好する心情を育てるとともに、書に興味・関心を持ちつつ感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。

学年	第1・2学年	教科書	書道 I (教育出版)
		副教材	筆(大・小)、固型墨、半紙(漢字用・仮名用)、半切、印材、印刀、ビデオ、作品集等

学習方法

授業での作品制作、書の鑑賞、レポート

年間シラバス (1年間の学習予定表)

高校1年〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1.用具・用材 2.姿勢・執筆法 3.書写から書道へ ●漢字の書 ◇漢字の成立と変遷 1 楷書	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う ・腕の構え方、筆の持ち方、書く姿勢について、いろいろあることを理解する。 ・文字を正しく整えて書く学習活動から、起筆の穂先によって、さまざまな線の表現ができることを理解する。 ・漢字の成立と変遷について理解する。 ・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 ・半紙作品を競書大会に出品する。 	【評価の観点】 ◇関心・意欲・態度 ◇鑑賞の能力 【評価方法】 提出作品…7割 平常点…3割 (授業態度・出欠・提出物)
2 学期	●漢字の書 2 行書 ・条幅作品の制作 ●漢字と仮名の調和の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の用筆、運筆、字形の取り方、行書の特徴について理解し、練習する。 ・学習した古典の中から、大きな紙に多字数を臨書する。 ・国際高校生選抜書展に出品する。 ・さまざまな線で楷書と平仮名・片仮名の調和を試みる。(団扇やカレンダーに創作) 	【評価の観点】 ◇芸術的な感受や表現の工夫 ◇創造的な表現の技能 ◇鑑賞の能力 【評価方法】 1 学期と同様
3 学期	●落款と篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・書作品のまとめとして、落款の書き方やその効果について理解する。 ・篆刻の用具用材について理解し、篆刻の仕方について学習する。 	【評価の観点】 ◇鑑賞の能力 【評価方法】 1 学期と同様

高校2年〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	●漢字の書 3 隸書	<ul style="list-style-type: none"> ・隸書の成立について学び、その特徴を理解する。 ・隸書の基本用筆として、横画、縦画、波磔、転折等の書き方を練習する。 	【評価の観点】 ◇関心・意欲・態度 ◇鑑賞の能力

		<ul style="list-style-type: none"> ・古典の臨書・鑑賞し、その美を理解する。 ・半紙作品を競書大会に出品する。 ・学習した古典を、大きな紙に多字数を臨書する。 ・国際高校生選抜書展に出品する。 	<p>【評価方法】 提出作品…7割 平常点…3割 (授業態度・出欠・提出物)</p>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の書 4草書 ●制作 I 	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の成立について学び、その特徴を理解し練習する。(筆や硬筆で) ・工芸的な要素を取り入れ、創作の楽しさを体感する。(刻字など) 	<p>【評価の観点】 ◇関心・意欲・態度 ◇鑑賞の能力</p> <p>【評価方法】 1学期と同様</p>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ●仮名の書 ●制作 II 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立や種類など理解する。 ・仮名の用具用材と特徴について理解する。 ・仮名の基本線・運筆・連綿などについて理解し練習する。 ・自宅に飾れる小作品を作る。(短冊・色紙・葉書など) ・飾る場所に合った内容、表現方法を工夫し、今までに学んだもの、個性を十分に発揮する。 	<p>【評価の観点】 ◇関心・意欲・態度 ◇創造的な表現の技能 ◇鑑賞の能力</p> <p>【評価方法】 1学期と同様</p>